



# 町田YMCA 20周年



## 地域活動の灯火絶やさず

東京コスモスイズメンズクラブ 伊藤幾夫

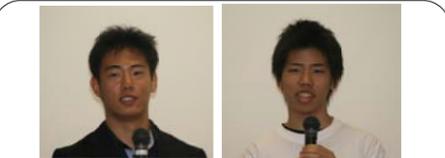
去る5月24日(火)18時半、町田市市民フォーラム調理学にて、町田YMCA 20周年記念会を行いました。内々で手作り料理を楽しみながら、ささやかに行いました。それでも、島田茂・日本YMCA同盟総主事をはじめ、近隣のワイズメンもお祝いにかけて下さり、また、廣田光司東京YMCA総主事もメッセージを寄せて下さいました。参加者は18名でした。町田YMCAは1990年に小田急線町田駅近く

# 第9回 会員大会開催



委員長の笈川光郎氏

|              |        |
|--------------|--------|
| 11年度会員部運営委員長 | 笈川 光郎  |
| 委員           | 石井 秀夫  |
|              | 伊藤 幾夫  |
|              | 小原 武夫  |
|              | 金丸 満雄  |
|              | 佐野 光彦  |
|              | 高嶋美知子  |
|              | 東條めぐみ  |
|              | 長谷川あや子 |
|              | 張替 滋夫  |
|              | 前田 直孝  |
|              | 藤田 敏雄  |
|              | 村杉 克己  |
| (以上21名)      |        |



石巻ワークキャンプに参加したボランティアの町田崇史さん(写真左)と廣瀬匠さん(写真右)が、被災地の様子を報告した。町田さんは、「泥には産業廃棄物も含まれていた。作業は無力感を感じた。また、被災地の状況が心配だったが、ちよつと不安定になるようなケアが必要だ」と述べた。

5月28日(土)、東陽町にて説明があった。続いて会員部運営委員候補者として、新任6名を含む21名の運営委員が推挙された(左表)。

また今年の「ユースボランティア・オブ・ザ・イヤー」には、各センターで活躍中の5名のボランティアリーダーが選ばれ、廣田総主事から表彰状が授与された。「ボランティア・オブ・ザ・イヤー」には、尾作 聖子さんが表彰された。(下表参照)。

勤続25年職員表彰では、説明された。特に、寄付金優遇税制により、東京YMCAへの寄付金は、会費を巻き戻すことができる。石巻ワークキャンプは、これまで5回実施したが、参加したボランティアから、感想が述べられた(上記)。

第三部は、軽食を囲みながら行われた。今年度で退任された小松重雄氏が司会を務め、佐藤茂美氏(運営委員)の食前感謝で始められた。勝田正佳氏(評議員)により、東日本大震災を思い、全員で「献杯」した。会場には、石巻ワークキャンプの写真展示コーナーが設けられ、ボランティアが報告書を配って現地の様子を伝えた。また被災地を応援するため、現地の物品販売ブースが作られ、石巻の手作り味噌や、昆布などのほか、各種の寄贈品が販売された。恒例のサイレントオークションに

# 東日本大震災 支援活動 ランタンプロジェクト



万石浦小学校の先生方とYMCA関係者。特に子どもは、停電で暗くなると不安になる。ランタンは、ろうそくより安全で、懐中電灯よりも明るいので、非常に喜ばれた。



万石浦中学校の皆さん(前列右端が菰淵さん)

東京YMCAでは3月11日以来、被災された方々の痛みを思い、会員と職員が同じ願いのもと、復興支援活動を開始してきた。被災した方々にLEDランタンを贈る「被災地に愛の灯火プロジェクト」では、ランタンに使用する乾電池が手に入りく

この6月、松本で行われた第14回ワイズメンズクラブ東日本大会では、東日本大震災被災者支援をテーマに、6月8日(水)石巻市の万石浦中学校と万石浦小学校にランタンと乾電池を届けた。2トントラックと乗用車に6名が分乗して、ランタン650個と乾電池(5200個)をトラックに満載し石巻に向かった。万石浦中学校に到着すると、部活を終えた青いジャージ姿の生徒たちが喜びの作業の輪に自然と加わ

また、震災復興酒「希望の光」などが並んだ。退任された5名の運営委員へは、川委員より記念品が贈呈された。途中、ボランティアリーダーによるレクリエーションタイムもあり、会員同士の交流を楽しんだ。最後はYMCAの歌を合唱し、今後の会員部活動の発展を誓い合った。

も、震災復興酒「希望の光」などが並んだ。退任された5名の運営委員へは、川委員より記念品が贈呈された。途中、ボランティアリーダーによるレクリエーションタイムもあり、会員同士の交流を楽しんだ。最後はYMCAの歌を合唱し、今後の会員部活動の発展を誓い合った。

も、震災復興酒「希望の光」などが並んだ。退任された5名の運営委員へは、川委員より記念品が贈呈された。途中、ボランティアリーダーによるレクリエーションタイムもあり、会員同士の交流を楽しんだ。最後はYMCAの歌を合唱し、今後の会員部活動の発展を誓い合った。



当日表彰されたユースたち

勤続25年職員

|                             |
|-----------------------------|
| 秋田 正人 (とちぎYMCA出向中)          |
| 口原恵美子 (社会体育・保育専門学校)         |
| 小泉真由美 (グランチャ東雲)             |
| 菅谷 淳 (財務部)                  |
| 諏訪 治邦 (YMサービスクラスの森わくわくビレッジ) |
| 波多 啓造 (芝浦アイランド児童・高齢者交流プラザ)  |

**Volunteer of the year**  
ボランティア オブ ザ イヤー

**尾作 聖子**  
神田の東京YMCAホテルおよび英語専門学校就職指導室の嘱託職員として勤務の後、ボランティアとして賛助会の事務作業等を担った。NGOプラザジョブにも携わる。現在に至るまで毎週2日間、会員部と賛助会で献身的な働きを続けている。

**Youth Volunteer of the year**  
ユース ボランティア オブ ザ イヤー

**尾崎菜々子** (西東京コミュニティセンター)  
障がい児活動Smileやシーズンキャンプで活躍。多数のボランティアも呼び集めてくれた。

**澤木 嶺太** (南コミュニティセンター)  
幼児対象の野外活動を中心に活躍。東日本大震災のチャリティーイベントなども企画。

**篠崎 健一** (山手コミュニティセンター)  
山手センターの中心的リーダーとして活動するほか、野尻小学生キャンプでも活躍。

**飯田 慶子** (江東コミュニティセンター)  
定例野外活動、小学生グループ活動、サッカークラス、バザーなど様々な分野で活躍。

**神部 直哉** (東陽町コミュニティセンター)  
幼児の野外活動「どんぐり」ほか、水泳、体操、バスケットクラスにも積極的に参加。

**東日本大震災 復興・救援募金**

お預かりしました募金総額は、5月末日時点で11,117,498円になりました。心から感謝申し上げます。引き続き9月末まで募金を受け付けております。ご協力をお願いします。

- \* ゆうちょ銀行 (郵便振替) 00120-7-714728  
公益財団法人東京ワイエムシイエイ 東京YMCA会員事務局
- \* みずほ銀行 神田支店 (普) 1677931
- \* 三井住友銀行 神田支店 (普) 7656469  
公益財団法人 東京ワイエムシイエイ
- \* 現金書留、東京YMCA各部窓口でも承ります

「東日本大震災」とお書き添えください。領収書(受け取り)の発行は、特別なお申し出がない限りは振込み控えをもって替えさせていただきます。



いんぷおめーしょん

INFORMATION

インフォメーション

■早天祈禱会■

日時 I : 7月1日(金)7:00~8:30
齊藤 實氏 (YMCA史学会理事長)
日時 II : 8月1日(月)7:00~8:30
菅谷 淳氏 (東京YMCA財務部主任主事)
会場:山手センター 101ホール
お問合せ:会員部 (Tel03-3615-5568)

■中国語の聖書に親しむ会■

日時:7月11日(月)19:00~21:00
会場:山手センター
指導:仲田達男氏(元財団理事長)
参加費:無料
お問合せ:山手センター (Tel 03-3202-0321)

■午餐会■

<文化講演会一昼食をともに>
日時:7月21日(木)12:00~13:30
会場:東京大学YMCA
(東京メトロ南北線東大前駅)
テーマ:「YMCAで育てられた」
卓話者:廣田 康人氏 (三菱商事(株)執行役員総務部長)
参加費:3,000円(食事なし1,500円)
お申込み:賛助会事務局 (Tel 03-3615-5568)

■第2回チャリティーデー■

<東日本大震災復興支援のため>
東北地方の物産を購入の上、献品ください。いただいた品物は、下記日時に販売します。米、菓子、地酒など、新品で日持ちのするものであれば品目は問いません。「もの」を購入することで、被災地産業復興の一助となるのが目的です。
日時:7月9日(土)10:00~17:00
抽選会や模擬店も予定
会場:山手センター
お問合せ:山手センター (Tel 03-3202-0321)

■「浴衣」寄贈のお願い■

<東京YMCAにほんご学院>
昨年スタートした日本語クラスは、4月より正式名「東京YMCAにほんご学院」となりました。現在8カ国から20名ほどの受講生が学んでいます。この夏、浴衣の着付け体験を予定していますので、もしお手元に不要な浴衣をお持ちでしたら譲ってください。ほかに、ホームビジット受け入れなど各種ボランティアも募集中です。詳細お問い合わせください。
お問合せ:東京YMCAにほんご学院 (Tel 03-3615-5548)

■東京YMCA夏まつり■

恒例のオール東京YMCA夏まつりを開催します。模擬店、子どもコーナー、抽選会、ジャズバンド演奏など盛りだくさん。どなたでもお楽しみいただけます。ぜひお問い合わせの上、お出かけください。
日時:8月27日(土)15:30~19:00
会場:東陽町センター
\*お手伝いボランティアも募集中
お問合せ:会員部 (Tel 03-3615-5568)

■国際協力一斉街頭募金■

<ぜひご参加ください>
恒例の国際協力一斉街頭募金を実施します。毎年、東京YMCAの会員・学生・園児・ワイズメンなどが300人以上参加し、渋谷駅前で一斉に街頭募金を行っています。今年もご参加をお願いします。
寄せられた募金は、東京YMCAが行う国際協力・国際交流プロジェクトに用いられます。
日時:9月10日(土)10:00~
場所:渋谷駅周辺
お問合せ:国際協力部 (Tel03-3615-5548)

- ◆会員部
【新入】小町 正人
【再入会】高梨 穂波
【再入会】人見 茂幸
【再入会】尾作 聖子
【再入会】新井 廣和
【再入会】伊佐 節子
【再入会】丹羽 芳雄
【再入会】三川 春一
【再入会】南センター 井口 延
【再入会】一色 登久
【再入会】國友すみ子
【再入会】杉並センター 穂積喜久子
【再入会】山中湖センター 米山 敏裕
【再入会】草分 俊一
【再入会】原 俊彦
【再入会】由井 卓哉
【再入会】上信越野外活動センター 松本 隆
【再入会】国際ホテル専門学校 野尻学 荘のたけに 50万円

感謝
東京YMCA 継続法人会員 登録数 1508法人
2011年5月
【5月】
(株)木村洋行/山崎製パン(株)
パナソニック(株)/学校法人桜葉林学院/榎小学館/
(株)菓匠築久堂/榎ウテナ
鳥塚しげきさんと小松久さんのデュエット
(国際協力部 南宮成一)

財団法人
【お詫びと訂正】
5月号「資料室の窓から」の題字に誤りがありました。お詫びして訂正します。
正:「斉藤憲一」YMCAの時代区分
誤:「齊藤憲一」YMCAの時代区分
青木達哉(児童福祉課)

明治安田生命と共催
チャリティーライブ
5月23日、明治安田生命「マイプラザ」ホールにて、明治安田生命保険相互会社と東京YMCAの共催による東日本大震災復興支援チャリティーライブ「音楽は元気の素」が行われ、出演者は鳥塚しげき、小松久、まきみちるの3氏で、団塊の世代には懐かしい曲が多く、復興支援の雰囲気を出すと同時に、会場入口には大震災の被災状況と復興支援の活動風景がパネルで展示され、また募金箱も設置された。東京YMCAが大震災発生以後に取り組んでいる活動の一環をこのプログラムを通して、多くの人々に紹介することができた。
(国際協力部 南宮成一)

5月23日記念式典 祝50周年

東京むかで

ワイズメンズクラブ

50年前に誕生した東京むかでワイズメンズクラブは、野尻学荘に故郷を持ち、東京YMCAに本籍を持っている。東京YMCAの青少年事業・野外活動事業に多くの先輩たちが委員・役員として活躍したのも、若き日のYMCA活動、特に少年部での生活に由来するものと推測できる。野尻湖でのむかでファミリーキャンプは野尻学荘の期間中にホイス・リーダーたちと素晴らしい交流の時を持つ機会である。ムカデならではの青春を謳歌できる時だと思われ。またムカデは、『共に生きる』をテーマに「むかで

東京世田谷

ワイズメンズクラブ

3月11日の大震災と原発問題の目処が一向に立たない中での創立50周年記念式典・祝会でしたが、心配していた不測の事態も出来ず、滞りなく無事終了することができたことを感謝いたします。ご来賓の皆様始め、ご支援・ご協力いただいた多くの関係者の方々に、改めて厚く御礼申し上げます。50周年は安息と解放のヨベルの年と説かれていますが、100年に一度の大震災と未曾有の原発事故に遭遇すると、このように黙示録的状況下で、これからの活動を展望するのは、クラブにとってなかなかのチャレンジではあります。畢竟、来るべき50年、100年をめざして、今日からまた怠らぬ努力とリンゴの木を植え続けることこそ肝要かと。世田谷クラブへの皆様の暖かい激励とご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。
(東京世田谷ワイズメンズクラブ会長 張替滋夫)

第25回 インターナショナル チャリティーラン
参加団体・ご協力者 募集中!
「YMCAインターナショナルチャリティーラン」は、その参加費で、障がい児プログラムを支援するという賑やかな大会です。1987年にスタートし、今年で25回目を迎えます。今では全国16ヶ所のYMCAで開催しています。賑やかな大会を楽しむこと、それが支援になります。多くの方のご参加ご協力をお待ちしています。
日時:2011年9月23日(金・祝)
場所:木場公園(東西線木場駅 徒歩10分)
問合せ:チャリティーラン事務局 (Tel. 03-3615-5568)

高尾の森 わくわくビレッジ
■おやじと子のアウトドアライフ~キャンプを楽しもう編
アウトドア経験の少ないお父さんも大歓迎の父と子のキャンプです。テント泊や野外料理をとおして父と子の絆を再発見しませんか?
日程:9月17日(土)~18日(日)1泊2日
対象:小学3年生~6年生の子どもと父親 20組
会場:高尾の森わくわくビレッジ テントサイト/費用:ひとり5,250円(税込)
申込み:7月31日必着で往復ハガキに参加親子の氏名・学年・年齢・性別・郵便番号・住所・電話・何でキャンプをお知りになったかをご記入の上「おやじと子のアウトドアライフ係」まで。返信用の表面に申込者の住所氏名を記入してください。
主催:東京都教育委員会・高尾の森わくわくビレッジ
■第7回 わくわくアートコンテスト
木材をつかった「生き物」をテーマとした立体造形物のコンテスト。世界に一つだけのあなたの作品を募集中です。
応募期間:7月16日~10月12日必着 / 応募方法:専用の出品票に作品写真を添付の上郵送
審査:一次審査、本審査を経て入賞者には11月中旬に結果を通知します。
表彰式:2011年12月10日(土)
最優秀賞 1名(図書券3万円分、副賞) その他各賞 \*参加賞もあります
主催:東京都教育委員会・高尾の森わくわくビレッジ
協力:東京都図画工作教育研究会・京王電鉄株式会社・財団法人東京YMCA
出品方法:出品票のダウンロード、その他詳細についてはホームページをご覧ください。
高尾の森わくわくビレッジ ☎042-652-0911
〒193-0821 八王子市川町55 www.wakuwaku-village.com